

令和7年度 教育委員会事務局 運営方針

I 基本目標

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成

II 目標達成に向けた施策

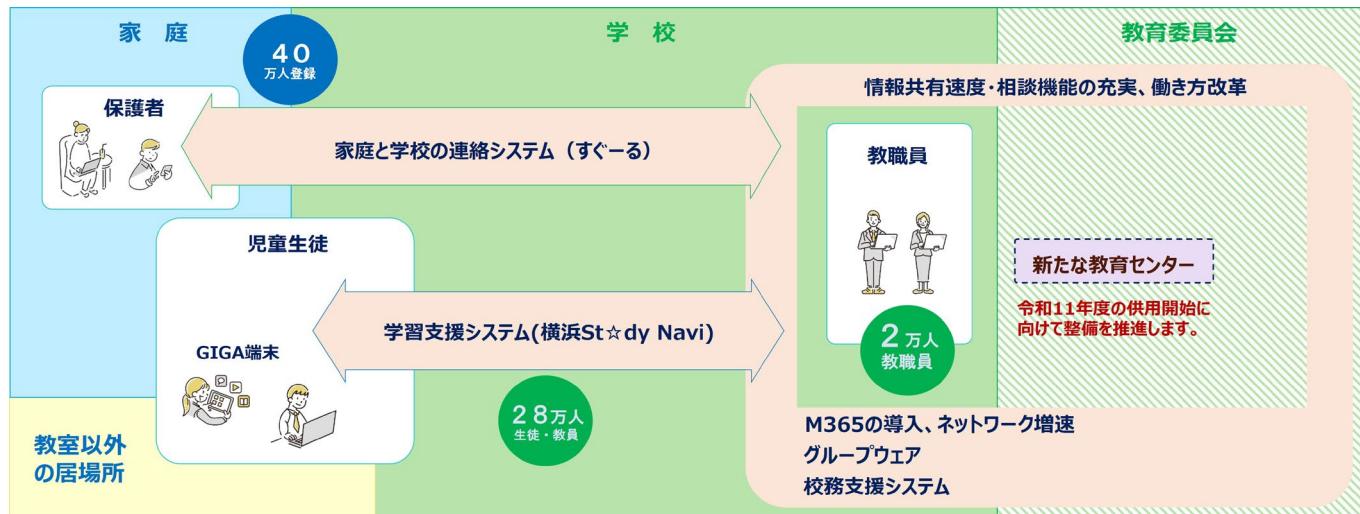
新しい学校教育の創造に向けた取組

課題

- 1人1台端末をベースにした DXによる教育の早急なリデザインが不可欠
- 求められる未来の人材育成や教育現場の課題の質的変化への対応の遅れ
- 教職員志願者の減少傾向が続く中で教職の魅力向上・働き方改革の要請

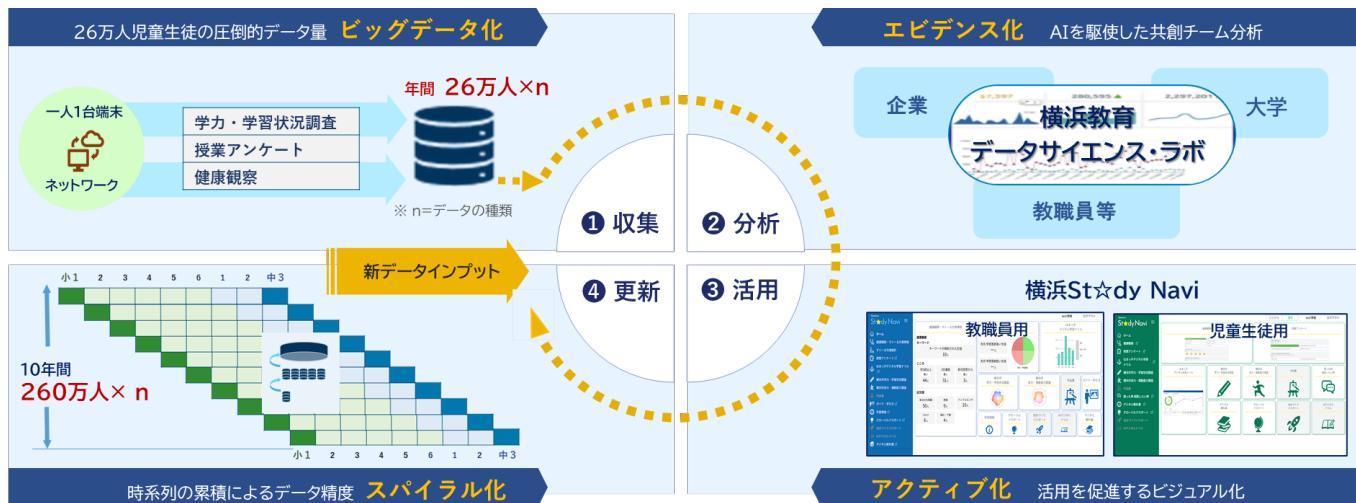
① 教育 DX を推進するための “つながる基盤” の形成と効果的な運用を進めます！

- 保護者約40万人が登録する家庭と学校の連絡システムに要望の多い学校関係の手続・提出機能を追加します。
- 児童生徒と教職員約28万人が活用する学習支援システムのダッシュボードや健康観察機能等を拡充します。
- M365導入・グループウェア全校クラウド移行と校務支援システムの新システム移行の準備を進めます。



② 約26万の子どもたちの“データ収集・分析・活用・更新するサイクル”を整備・運用します！

- 約26万の児童生徒からのデータを安全かつ効率的に蓄積・管理するデータハウスを整備します。
- 教職員、大学、企業の共創でデータを分析、学びの現場に還元する横浜教育データサイエンス・ラボを駆動します。
- データのビジュアル化など児童生徒や教職員のデータ活用を促進します。



方向性

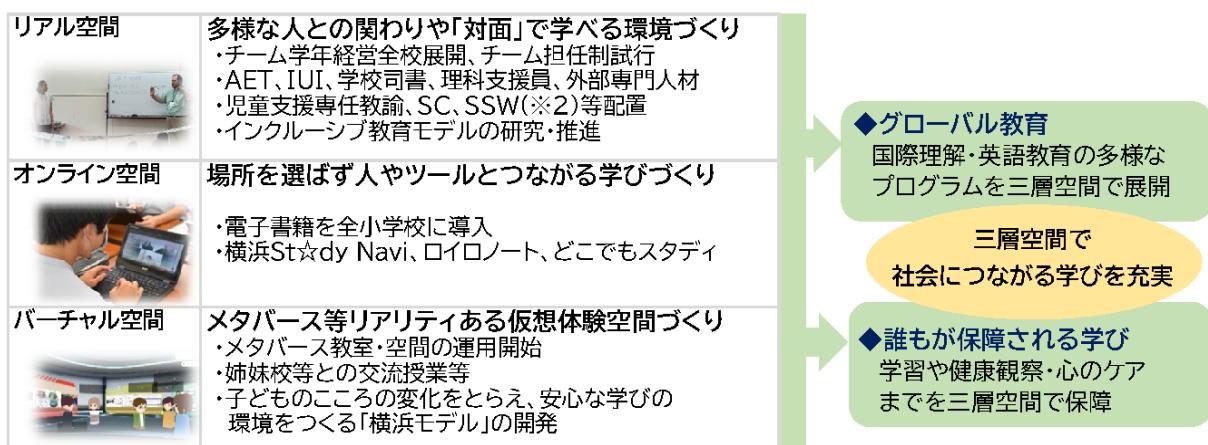
1人1台端末を効果的に活用し、児童生徒、保護者、教職員と学校、教育委員会をつなぐ、教育DX基盤と約26万人の児童生徒から届けられる学習や健康観察等のデータを分析、活用、更新するデータサイクルを整備・運用します。

また、対面の授業などのリアルに加え、オンライン、バーチャルの3つの重層的な学びの空間を整備し、特にグローバル教育、誰もが保障される学びを充実させます。

さらに、新しい教育の創造に向けて、大学・企業等との共創や、外部人材・ICTの活用による教職員の働き方改革と社会につながる学びを進めます。

③ グローバル教育、誰もが学びを保障される“三層の学びの空間”を充実させます！

- リアル空間に加え、オンライン、バーチャルなど選択できる三層での学びの空間を整備します。
- グローバル教育では、姉妹都市や多くのAET、IUI(※1)を有する強みを生かし立体的な学びを展開します。
- 誰もが学びを保障される環境では、場所を選ばず選択できる重層的な学びの環境を整えます。



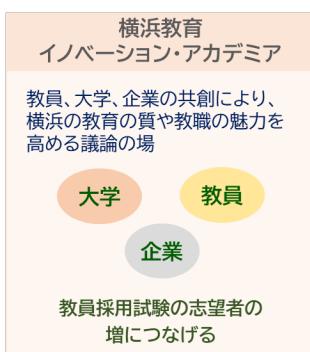
(※1) AET…英語でのコミュニケーション能力育成のための指導助手、IUI…外国の生活や文化を英語で紹介する外国出身の講師

(※2) SC…スクールカウンセラー、SSW…スクールソーシャルワーカー

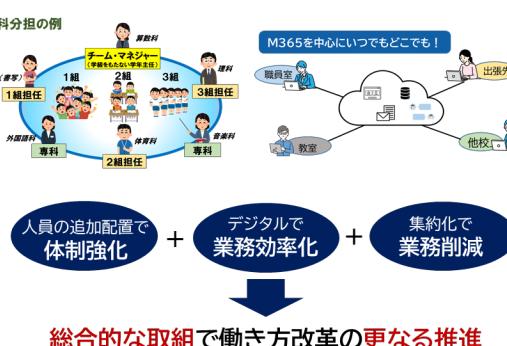
④ 新たな教育の創造と教職員の働き方改革など“共創による教職の魅力向上”を行います！

- チーム学年経営の全校展開、試行校でチーム担任制を研究し、組織的・効果的な学級経営を強化します。
- 外部人材の配置、校務DXの推進、業務の適正化・精選など、総合的な取組で働き方改革を推進します。
- 教員・大学・企業との共創“横浜教育イノベーション・アカデミア”で教育の質や教職の魅力を高めます。
- 教員採用試験の多様化や教員の魅力を発信するプロモーションを強化し、教員志望者の増につなげます。

教職の魅力向上・人材育成



働き方改革



プロモーション



安全・安心な学校に向けた取組

⑤ 不登校支援・いじめ防止に向けた総合的な対策の充実・強化に取り組みます！

第三者検証等の検証も踏まえた、不登校支援・いじめ防止対策の総合的な対応の体制と仕組みづくり

デジタル活用 + 居場所拡充 + 専門家拡充 + 関係機関との連携強化

児童生徒と保護者を中心に、不登校支援や、いじめの未然防止から早期発見・早期対応、調査実施までの総合的な対策を再構築し、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを行います。



その他の重点取組

⑥ 令和8年度中学校給食の全校実施に向けた環境整備に取り組みます！

5本の柱

- ①令和8年度に向けた着実な準備(令和7年度の喫食率拡大への対応、配膳室の整備)
- ②学校の取組を支える体制強化(職員室業務アシスタントの加配、栄養教諭への任用替えの促進)
- ③より安全、安心な給食への取組(衛生管理体制の強化)
- ④より魅力ある給食へ(献立改善の実施)
- ⑤物価高騰への対応(子育て世帯の負担増を抑制)

R8～中学校給食実現へ



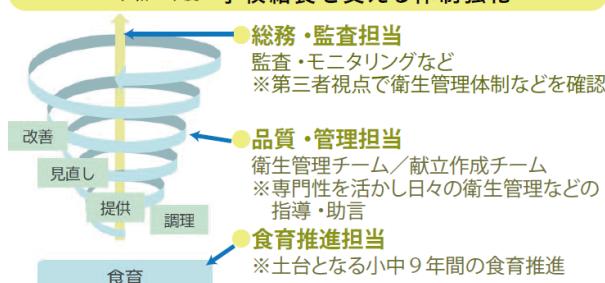
安全安心で、より温かくて
美味しい給食の提供
～アレルギー対応も含め
一人ひとりが満足～

給食で一人ひとりの生徒の成長を支える



汁物は食缶で
より温かく
生徒の声を献立
に取り入れ
小から中まで
9年間の食育
子育て家庭の
負担は増やさない

令和7年度 学校給食を支える体制強化



⑦ 生涯にわたる学び、知の交流空間づくりに向け図書館ビジョンを推進します！

● 図書館ビジョンの推進

1 市立図書館の再整備・機能拡張

- 中央図書館と地域図書館で交通アクセス・バランス等を踏まえ、提供する機能を分担
 - 1区1館を基本としつつ、時代・ニーズの変化と市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新たな大型図書館を整備
- <具体的な取組>
- ① 港北図書館の再整備に向けた検討
 - ② 地域図書館のリノベーション
 - ③ (仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業(鶴見図書館分)
 - ④ のげやま子ども図書館整備
 - ⑤ 新大型図書館の基本構想策定検討



2 図書サービスへのアクセス性の向上

地区センターなど身近な施設との連携による新たな図書取次拠点設置に向けた調査・検討

3 デジタル技術の積極導入

利用者サービスの向上、業務効率化を目指す
①市立図書館全館へのICタグ導入
②デジタル技術導入検討

● 生涯学習の推進

生涯学習の振興を図るため、各区と連携し、市民への学習機会の提供等を進めます。また、第三次横浜市民読書活動推進計画に基づき、デジタルを活用した取組や読書バリアフリーの取組等、読書活動を推進します。

● 文化財の保存・活用の推進

市文化財保存活用地域計画等に基づき、文化財の保存・活用を推進します。博物館等施設と連携し、DXを活用した文化財の普及啓発や所蔵資料のデジタルアーカイブ化を進め、市民の学ぶ機会の充実を図ります。

⑧ 災害時の利用や環境にも配慮した学校施設の環境整備を促進します！

避難所利用も踏まえた体育館空調の整備、トイレの洋式化、環境に配慮した照明 LED 化の加速、給食室空調の整備、エレベーター等の整備促進、学校施設の建替え・長寿命化に取り組みます。

⑨ 配慮が必要な児童生徒に寄り添った対応強化を充実させます！

特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の増加等を踏まえ、通級指導教室の拡充等学びの場の充実と、新たに個別支援学級へのコンサルテーション事業を創設する等により、教職員の専門性向上に取り組みます。



III 目標達成に向けた組織運営

巨大事業体にふさわしい組織運営の改革に取り組みます！

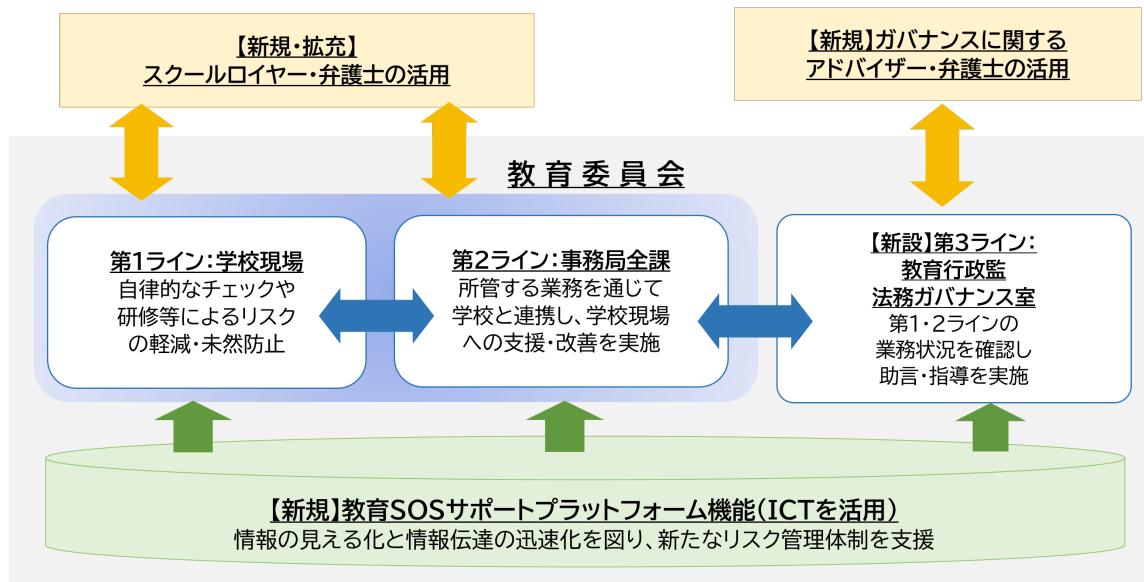
505 校、児童生徒数約 26 万人という巨大組織にふさわしいガバナンスを構築します。



民間企業、他都市を参考にしたガバナンス体制を整備するとともに、ICT を活用した情報やプロセスの見える化・情報伝達の迅速化を進めます。

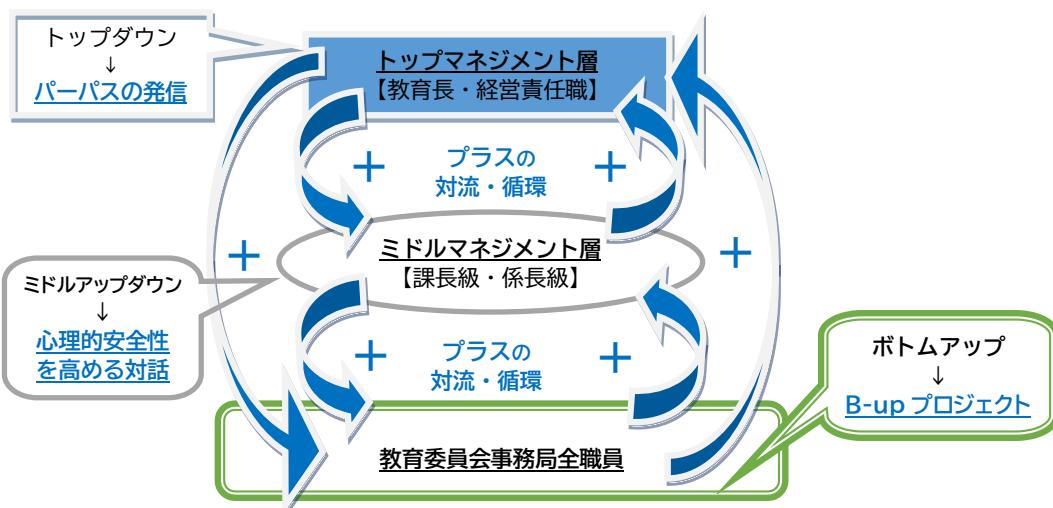
また、教職員等の心理的安全性を確保するとともに、エンゲージメントが高く風通しの良い職場を目指した取組を推進します。トップダウンだけでもボトムアップだけでもない、全方位的なコミュニケーションの活性化策を、民間企業などの取組も参考に、研究・実践を進めていきます。

【重層的なリスク管理推進体制(教育委員会版3ラインモデル)】



【参考:教育委員会事務局におけるパーパスによるコミュニケーション活性化のイメージ図】

※パーパス=「組織の社会的存在意義」



社会全体で子どもを支える教育を推進します！

「横浜市こども・子育て基本条例」や「GREEN×EXPO 2027」を契機に ESD※の取組をさらに進めるため、学校や教育委員会事務局だけでなく、家庭・地域・企業・大学等と協働・共創して各施策・事業を推進します。

※SDGs達成の担い手育成(Education for Sustainable Development)